

## 新年にあたって

国立国会図書館長  
長尾 真



新年、おめでとうございます。

国立国会図書館調査及び立法考査局は、当館が収集した内外の資料や電子情報を活用して、国会議員からの広範多岐にわたる調査依頼、資料・情報の提供依頼に答えております。平成 21 年度には約 42,000 件の回答をしました。また、現在および将来の国政課題について自主的に調査した結果を刊行物の形で国会議員に提供しております。海外の制度比較など特色ある調査を含めて、これらは常に不偏不党の立場で行っております。

現在、新たな国政課題が絶えず出現するとともに、国政課題が複雑化しており、国会議員の活動を十全に補佐するためには、学術情報を含むより広範な情報を入手し、その情報に基づく分析を強化することが必要となっており、国内外の調査研究機関・研究者との連携を強化することを通じて、特色ある調査を一層充実させたいと考えております。

『レファレンス』『調査と情報—ISSUE BRIEF—』『外国の立法』など、調査及び立法考査局の刊行物は、国会議員から概ね好評をいただいております。最近、刊行物の発行に合わせ、国政課題についての理解を深めるための国会議員・秘書向けセミナーも積極的に開催しています。

国会会議録、当館刊行物など国会から発生する情報を広く国民に対して提供することも立法補佐機関としての当館の役割であります。昨年、帝国議会議録検索システムへのデータ投入が完了し、議会開設以来 120 年の議事録がすべてインターネットで閲覧できるようになりました。また、我々の刊行物は刊行後速やかに当館ホームページに掲載して社会に提供しておりますが、今後も国会発生情報を国民がさらに効果的に利用できるようにし、国会と国民とをつなぐ役割を強化してゆきたいと考えております。

今年もよろしく願いいたします。